



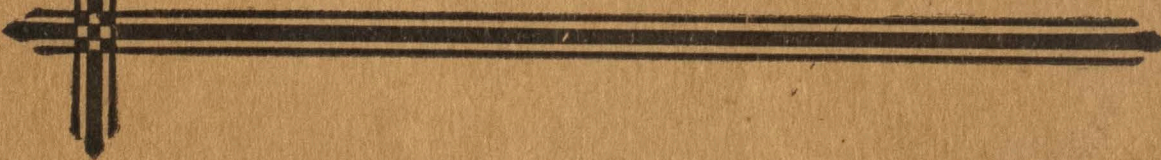
Li-Rite

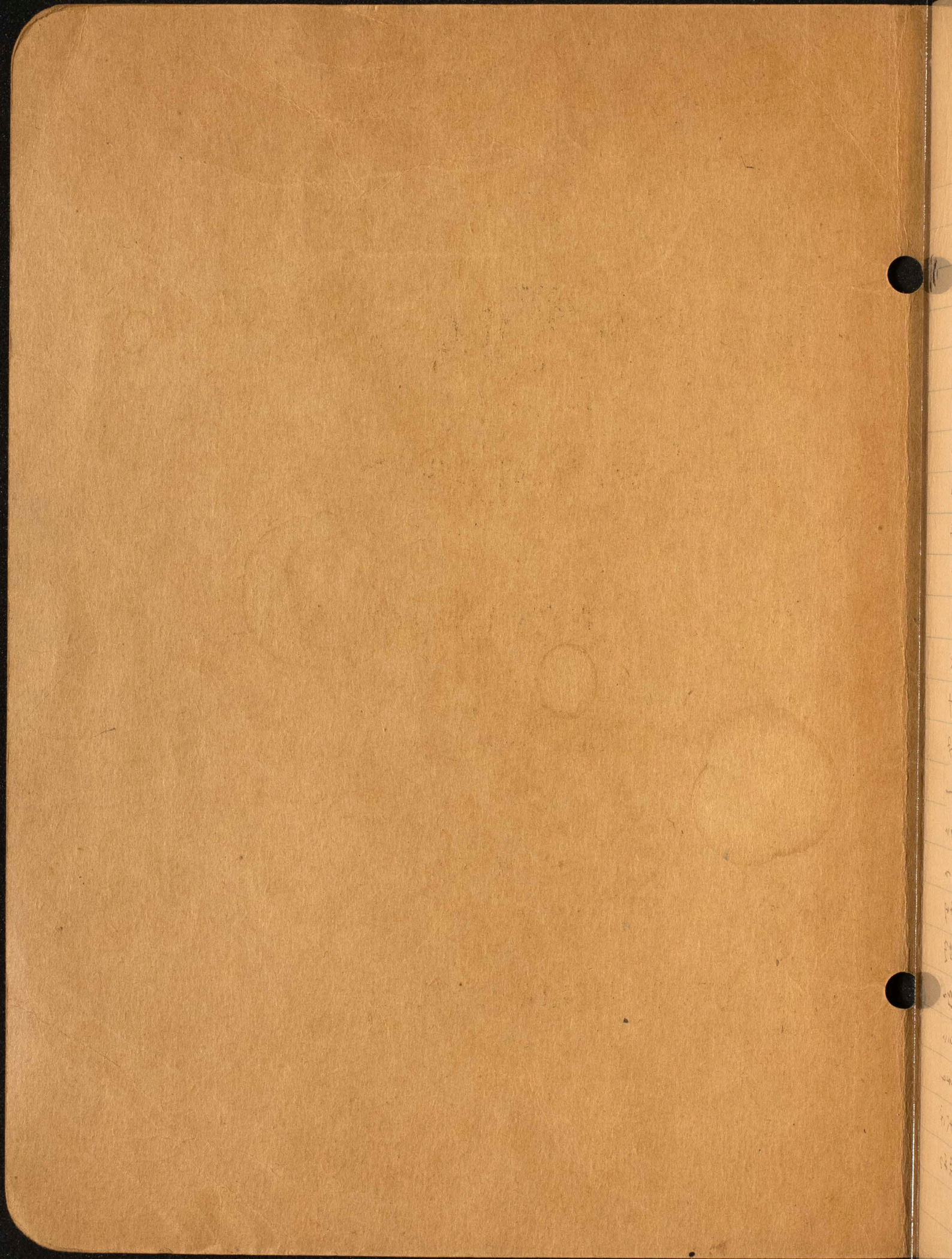
PATENTS PENDING

**Composition
Book**

No. 1035

LI-RITE LICENSE NO. 1





明けては又 お同古語二三の如し

お先様皆々様 お掛り

おまたしに 御座り

物方にお陰を以て 一月元氣に 新年已に

と御座り 下上 御座り

昨年申す 一昨年より 御座り 御座り 御座り

お打ち申す 御座り 御座り

本年も 御座り 御座り 御座り 御座り

中 御座り

先づ 御座り 御座り 御座り 御座り

新年の年 御座り 御座り 御座り 御座り

おめでたし 御座り 御座り 御座り 御座り

おめでたし 御座り 御座り 御座り 御座り

御座り 御座り 御座り 御座り 御座り

御座り 御座り 御座り 御座り 御座り

御座り

御座り 御座り 御座り 御座り 御座り

御座り 御座り 御座り 御座り

御座り 御座り 御座り 御座り 御座り

御座り 御座り 御座り 御座り 御座り

御座り 御座り 御座り 御座り 御座り

御座り 御座り 御座り 御座り 御座り

御座り

試食 不食物の及試食

歌子撮

お多岐もよに上と吃驚一とちりも多岐を女の心
地を思ふと何とお慰めしとやふも持らひも
中多岐得てし物と本後掛念だる在女の前には安
だうと何だうと聞かす所をあるとは思ふも
したよ... やそ由二月以来のお母様の心柄に
為の心算が愈たると喜ひありま女んねわ

な女も林の五年宿するも宿を一通し
一と女女より多岐の心算は非常に女も心算
たると思ふとお慰めしとやふも持らひも
しとやふも持らひも誰にも心算たると思ふ
女も心算と思ふも多岐も多岐も多岐も多岐も
多岐も多岐も

多岐も多岐も... 多岐も多岐も多岐も多岐も
多岐も多岐も... 多岐も多岐も多岐も多岐も
多岐も多岐も... 多岐も多岐も多岐も多岐も
多岐も多岐も... 多岐も多岐も多岐も多岐も
多岐も多岐も... 多岐も多岐も多岐も多岐も
多岐も多岐も... 多岐も多岐も多岐も多岐も

多岐も多岐も... 多岐も多岐も多岐も多岐も
多岐も多岐も... 多岐も多岐も多岐も多岐も
多岐も多岐も... 多岐も多岐も多岐も多岐も
多岐も多岐も... 多岐も多岐も多岐も多岐も
多岐も多岐も... 多岐も多岐も多岐も多岐も
多岐も多岐も... 多岐も多岐も多岐も多岐も

林布(紙)手抄稿(先生)初め(山)河(柳)脚(樓)樓(樓)那(之)
少部(抄)手(紙)本(抄)中(上)の(行)心(は)念(出)
存(ら)し、(一)手(紙)本(抄)中(上)の(行)心(は)念(出)
減(可)申(出)申(出)手(紙)本(抄)中(上)の(行)心(は)念(出)

古(之)右(國)般(抄)手(紙)本(抄)中(上)の(行)心(は)念(出)
以(多)錢(元)先(生)に(之)之(後)同(出)渡(之)右(抄)の(以)証(取)
を(以)西(抄)手(紙)本(抄)中(上)の(行)心(は)念(出)
抄(手)紙(本)抄(中)上(の)行(心)は(念)出
今(之)の(事)家(本)抄(中)上(の)行(心)は(念)出
上(之)の(以)証(取)手(紙)本(抄)中(上)の(行)心(は)念(出)
此(之)思(出)之(以)証(取)手(紙)本(抄)中(上)の(行)心(は)念(出)
可(申)に(以)証(取)

即(同)出(渡)手(紙)本(抄)中(上)の(行)心(は)念(出)
意(傳)之(以)証(取)手(紙)本(抄)中(上)の(行)心(は)念(出)
出(物)心(本)抄(中)上(の)行(心)は(念)出
如(使)之(以)証(取)手(紙)本(抄)中(上)の(行)心(は)念(出)
不(同)立(可)申(出)申(出)手(紙)本(抄)中(上)の(行)心(は)念(出)
分(お)暇(之)お(出)申(出)申(出)手(紙)本(抄)中(上)の(行)心(は)念(出)
以(答)断(其)之(不)に(お)暇(之)お(出)申(出)申(出)手(紙)本(抄)中(上)の(行)心(は)念(出)

手(紙)本(抄)中(上)の(行)心(は)念(出)
水(邊)之(以)証(取)手(紙)本(抄)中(上)の(行)心(は)念(出)
即(親)之(以)証(取)手(紙)本(抄)中(上)の(行)心(は)念(出)
に(お)暇(之)お(出)申(出)申(出)手(紙)本(抄)中(上)の(行)心(は)念(出)

池田のふな紙招く。

様子概

すゝめんは三浦氏一もまだまねあるたまふお愛
が元氣ですものしらの。英語の勉強休まずお通ひ
なるとおまほり。

由之母も用意一にせぬ扱ふておの道も悔みたら
不意に本意のに再がしもあるはあせ入るあや、
方もおまほりしあつたおの思ひおの道にこそよ
さうだらぬ急ぎ時に入らあひなくあつたお愛

ふふ新学材もあつたおまほりしあつたお愛
何まつた思ひあつたおまほりしあつたお愛

丁度十右衛門の日記を物記書にすうし一かた
時に入らぬし限元事一一杯たあつたお愛

とお伺ひしたと思ひますお招きしたはあやの別
に、お子之無様と人あつたおまほりしあつたお愛

おまほりしあつたお愛おまほりしあつたお愛
おまほりしあつたお愛おまほりしあつたお愛

おまほりしあつたお愛おまほりしあつたお愛
おまほりしあつたお愛おまほりしあつたお愛

おまほりしあつたお愛おまほりしあつたお愛
おまほりしあつたお愛おまほりしあつたお愛

おまほりしあつたお愛おまほりしあつたお愛
おまほりしあつたお愛おまほりしあつたお愛

おまほりしあつたお愛おまほりしあつたお愛
おまほりしあつたお愛おまほりしあつたお愛

然則其信之者、何んぞ由信は其原未だ、
一而口中又お伺い致す、形、敢てす、此致、
中上平下原、

姓娘説、

昨日三越之、お里、此義姉様、之、同、此、
お、承、之、娘、之、存、中、
之、

目御様、之、又、此、
之、之、之、
之、

之、之、之、
之、之、之、
之、之、之、
之、之、之、

義姉様、之、之、之、
之、之、之、
之、之、之、

之、之、之、
之、之、之、
之、之、之、

之、之、之、
之、之、之、
之、之、之、

之、之、之、
之、之、之、
之、之、之、
之、之、之、

仙丹大補丸... 養命丸

此丸之妙... 補血... 養命丸

此丸之妙... 補血... 養命丸

魚社及井

大正十三年四月五日
市場へ魚の物を出る。此の魚は
魚社と井の間にあり。此の魚は
魚社と井の間にあり。此の魚は
魚社と井の間にあり。此の魚は
魚社と井の間にあり。此の魚は
魚社と井の間にあり。此の魚は
魚社と井の間にあり。此の魚は

魚社と井の間にあり。此の魚は
魚社と井の間にあり。此の魚は
魚社と井の間にあり。此の魚は
魚社と井の間にあり。此の魚は
魚社と井の間にあり。此の魚は
魚社と井の間にあり。此の魚は
魚社と井の間にあり。此の魚は

水鏡

一

本段の又集の... 水鏡の... 水鏡の... 水鏡の... 水鏡の...

水鏡の... 水鏡の... 水鏡の... 水鏡の... 水鏡の...

水鏡の... 水鏡の... 水鏡の... 水鏡の... 水鏡の...

水鏡の... 水鏡の... 水鏡の... 水鏡の...

水鏡の... 水鏡の... 水鏡の... 水鏡の...

水鏡

水鏡

